

太平洋地域の現況（SOTR）1-3月期予測改定

- ・太平洋経済協力会議（PECC）は、2008年の太平洋地域経済成長率の予測（前回：2007年11月発表）を下方修正した。前回予測の4.9%に比して、今回の予測は3.7%となっている。
- ・インフレについては、6ヵ月前と比べて現在、はるかに大きな関心事となっている。2008年のCPIインフレ率については、前回(昨年11月)の2.7%から今回は3.6%と上昇している。
- ・2008年の米国経済成長率予測を、2.9%から1.0%へと顕著に引き下げた。また、太平洋地域における他のほぼ全ての国・地域の成長率予測も引き下げられた。
- ・我々は2009年の成長率予測も引き下げたが、2009年は前年の反動として太平洋地域全体は4.4%の成長を実現するものと考えている。米国経済はその主要な役割を果たし、景気回復し、2.5%の成長となろう。
- ・11月の予測で強調したように、予測に対するリスクは、激動のアジア金融危機以来の大きさである。
- ・東アジアは国内消費を緩やかに増加させているが、太平洋地域の予測では純輸出を引き下げており、それがほとんどの国・地域の成長抑制要因となっている。

実質GDP成長率、消費者物価上昇率（CPI）

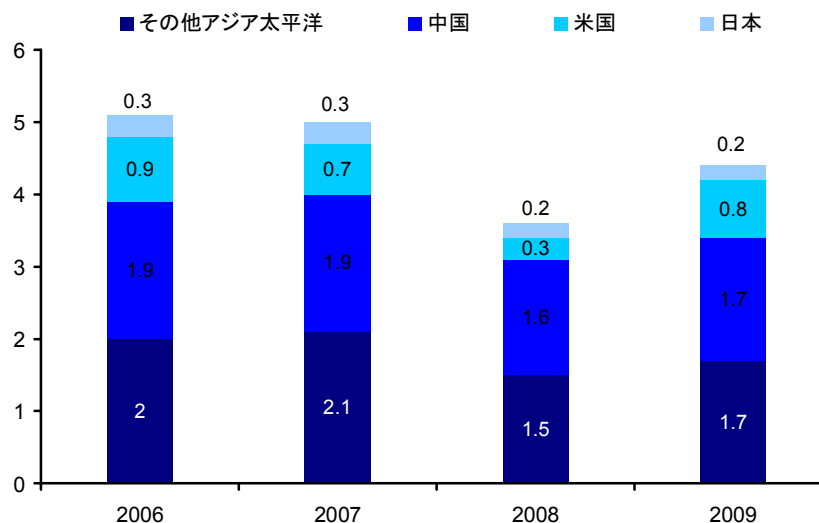
	2006	2007	2008	2009
Real GDP Growth (%)				
China	11.1	11.4	9.6	10.0
Japan	2.4	2.1	1.6	1.7
United States	2.9	2.2	1.0	2.5
Asia Pacific	5.1	4.9	3.7	4.4
East Asia	6.8	6.8	5.5	5.8
Southeast Asia	7.2	7.3	5.2	5.9
South America	4.8	6.0	6.7	5.7
Asia Pacific excluding East Asia	2.9	2.6	1.4	2.6
CPI Inflation (%)				
China	1.5	4.8	6.0	5.0
Japan	0.2	0.1	0.6	0.3
United States	3.2	2.9	3.9	2.6
Asia Pacific	2.2	2.7	3.6	3.0
East Asia	1.5	2.6	3.8	3.4
Southeast Asia	3.0	3.2	6.2	4.6
South America	3.5	3.6	6.0	3.6
Asia Pacific excluding East Asia	3.0	2.7	3.5	2.5

The first quarter update to our economic outlook is based on the March 2008 inputs from PECC's panel of 16 economies.

新興国が支える アジア太平洋地域

アジア太平洋地域は昨年の4.9%成長から、今年は3.7%成長するものと予測している。我々の予測改訂は米国経済の健全性に関する増大しつつある悲観論から来ており、米国は今年1.0%の経済成長しかないと見ている。米国経済の減速による波及効果と金融市場の不安定さにより、ほとんどのアジア太平洋の国・地域で、成長率の下方修正が見られる。

アジア太平洋各国・地域成長率



しかしながら、地域全体の成長は、新興国・地域、とりわけ東アジアの国・地域における成長が引き続き強いことで、支えられている。東アジアを除くアジア太平洋地域の国・地域の全体の成長率は1.4%でしかなく、2001年米国経済の停滞以来の数字である。中国経済はアジア太平洋地域の成長を牽引し、それは地域経済成長の45%に相当する一すなわち、地域全体で計3.7%に対して1.6%ポイントの貢献となっている。

米国経済は2006年の2.9%成長から減速し、2007年には2.2%成長となった。そして2008年には1.0%まで減速し、その後2009年には2.5%に回復する。我々は2008年の末に景気回復が始まり、2009年には、より強く成長すると見る。1200億ドルに達する家計への財政刺激策と緩和的金融政策が、今年の後半に効果を発揮し始める。

日本の2007年実質GDP成長率は2.1%であり、2006年の2.4%から減速している。今年の経済成長は更に鈍化し1.6%と予測され、2009年の1.7%とほぼ同様の数字である。民間需要の2008年における全体の成長率への寄与度は0.9%ポイントとなり、昨年と同じレベルである。対外部門の経済成長への貢献は2007年の1.1%ポイントから0.7%ポイントへと低下する。米国は未だに日本の輸出の主要市場であり、したがって予想される米国経済の減速が、日本の経済回復への純輸出の貢献の低下を説明している。

太平洋経済地域における予想される減速に対応して、中国経済もまた減速が予測され、2007年の11.4%成長は2008年には9.6%となり、その後2009年に10.0%に回復すると予測する。

その他の太平洋地域の国・地域も、アジア太平洋のビッグ3と同様の軌跡をたどるが、南米の国・地域（チリ、エクアドル、ペルー）は別で、その成長は強い一次産品の輸出に支えられ、昨年の6.0%成長から2008年には6.7%に加速すると予想される。

米国経済の急激な減速のインパクトは、地域の増加しつつある消費の重要性によって幾分か緩和されている。しかし、多くの地域では、日本、米国、シンガポール、チャイニーズ・タイペイを含めた幾つかの注目すべき例外を除き、対外部門は成長の妨げになると予想される。

インフレが主要な問題だ

経済成長の減速が政策当局のマインドに重くのしかかる一方で、彼らにとってインフレ不安が最大の頭痛の種となっている。スタグフレーション的な状況の下では、金融政策の余地は限られるのである。前回11月予測で述べたとおり、太平洋経済地域のインフレは上昇傾向にある。特にインドネシアと中国のインフレは突出しており、2008年、中国では+6.0%に達し、インドネシアでは+11.7%にまで上昇するであろう。

最新の予測改訂では太平洋経済地域全体のインフレ率を+2.7%から+3.6%に上方修正した。

インフレは中国経済にとっても最大の懸念であるため、我々は2008年のCPIの見通しを急上昇させた。中国ではインフレが加速し続けており、2006年の+1.5%から2007年には+4.8%に上昇した。今回の予測改訂では2008年のCPI上昇率について、前回11月予測の+4.2%から1.8%ポイント上方修正の+6.0%と予測している。

物価圧力に苦しんでいるのは中国だけではない。東南アジアではCPI上昇率が2007年の+3.2%から2008年には、ほぼ倍増の+6.2%になると見込まれる。インドネシアについては既に言及したが、フィリピンとシンガポールも同様である。

注目すべき主要な変化としては、日本のデフレ・サイクルが今年中に終わるかどうかである。日本のCPI上昇率は2007年の+0.1%からじわじわと上昇し、2008年には+0.6%になると見込まれる。

米国のインフレについては、CPIは2006年の+3.2%から、2007年には+2.9%と、わずかに低下した。しかし、2008年には原油価格の急騰により+3.9%に加速し、その後、原油価格の下落に伴い減速し、2009年には+2.6%に戻るであろう。

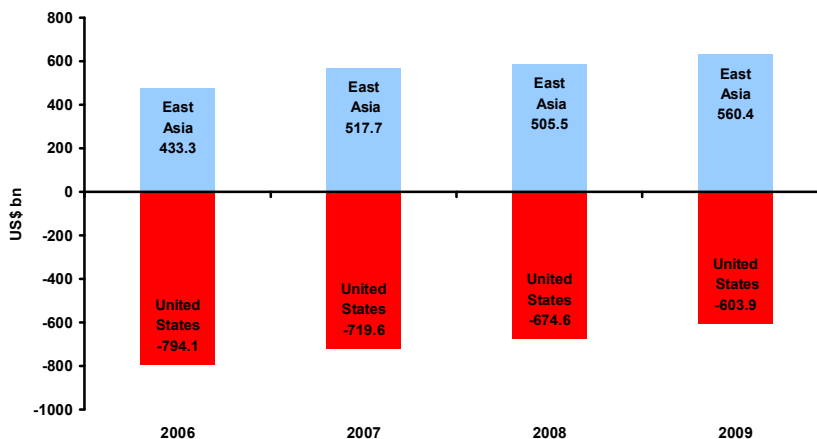
物価のもう一つの指標であるGDPデフレーターをみると、同様の状況が浮かび上がる。フィリピン（GDPデフレーター：対前年比+3.3%）はそれほどでもないが、中国（同+10.5%）、インドネシア（同+17.0%）およびシンガポール（同+6.0%）での物価圧力は、CPIの上昇に表れている以上に深刻のようだ。CPI上昇率は、日本のデフレ・サイクルが終わりに近づいていると示している一方、GDPデフレーターはデフレの継続を示している（同-1.0%）。

成長抑制要因となる純輸出

米国経済減速の影響は、過去の景気後退のときほど深刻ではない。というのも、ほとんどのアジア太平洋経済地域、特に東アジアの経済成長は、以前に比し

て純輸出よりも内需に、より依存しているためである。明らかな例外もいくつかあるが、米国を含むほとんどのアジア太平洋地域経済において、純輸出は成長抑制要因になるとみられる。米国の輸入の伸びは+0.9%と著しく減速するが、輸出は依然としてかなり強い+7.5%の伸びが見込まれる。

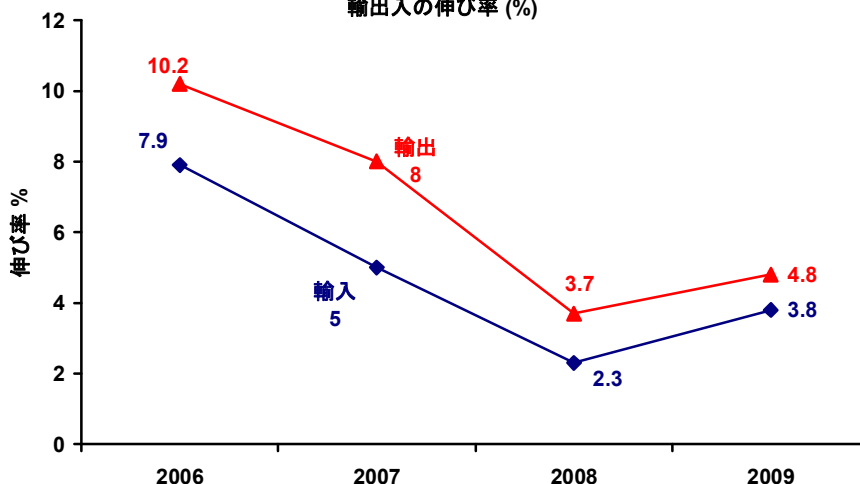
経常収支 (10億USドル)



米国の減速する輸入と強い輸出のパフォーマンスは、太平洋地域両岸にまたがる経常収支インバランスが崩れ始めているという一つの兆候である。米国の経常収支赤字は、2007年の7,200億ドルから2008年には6,750億ドルまで減少すると見込まれる。経常収支赤字の減少は対GDP比でさらに進み、2006年の対GDP比6.0%から、2007年同5.2%、2008年同4.7%、2009年には同4.0%まで縮小するであろう。

しかし財貨サービス輸出の4分の3以上を米国向けが占めるカナダでは、経常収支は2007年の150億ドルの黒字から、2008年は170億ドルの赤字へと逆転するとみられる。強いカナダドルに支えられ輸入は力強く伸び続けるが、米国の景気後退による米国向け輸出の減少がこの赤字転換の主因である。2008年のカナダのGDP成長率は+1.0%と予測してはいるものの、米国の景気後退が予想より悪化した場合、カナダの成長率はさらに落ち込むであろう。

アジア太平洋(加重平均) 輸出入の伸び率 (%)



アジア太平洋経済地域の輸出入の伸びは2006年以降の減少傾向が続くと見込まれる。輸出は世界経済の悪化により減速するであろう。さらに対外部門の落ち込みの表れは個別経済のGDP成長率への寄与の内訳に見られる。インドネシア、日本、韓国、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、米国といった明らかな例外はあるが、純輸出は、ほとんどのアジア太平洋経済諸国・地域経済の成長抑制要因となっている。しかし2009年に米国経済が回復すると共に、輸出入の伸びも回復するであろう。

為替の動向

殆どのアジア太平洋諸国・地域通貨は対米ドルで上昇し続けると予測される。対ドルレート上昇の影響は、米国の経常収支赤字の継続的な縮小を伴うものになるとみられている。

人民元レートについては、2007年11月時点の予測を改訂し、2008年末に1ドル6.89～6.91元と予測する。中国経済は、物価高騰、労働コストの上昇、新労働契約法の施行、金融引き締め政策、人民元の上昇、そして国際経済動向の不透明さといった問題を抱えており、2008年は過去数年に比べ一層、不確実性が増している。向こう1年間を見通すと、中国の短期金利は2008年末までに7.7%（2007年は6.9%）まで上昇すると予測する。

高まる不確実性と ダウンサイドリスク

予想される米国経済の回復は、保証されたものではない。2008年第一四半期における商品価格の急上昇は、アジア太平洋地域・諸国が通商政策の保護主義的傾向を強め、一部で輸出制限や輸出禁止措置もとられ、そのことが、国際市場への商品の供給量の減少と適正価格のさらなる上昇をもたらしたためである。

しかしながら、主要商品価格上昇の勢いは止まる気配がない。本見通しは本年3月時点のものであるが、それ以降も商品価格が上昇を続けていることからすれば、今後数ヶ月間で商品価格に調整が起きなければ、我々の予測はあまりにも楽観的であったということになるだろう。他方、世界的な経済のスローダウンが予測以上に深刻化するならば、主要商品の需要が減少し価格上昇圧力を弱めることになるだろう。

表1：PEO各国／地域の実質経済成長率と消費者物価上昇率、2006-2009 (%)

	Real GDP				CPI			
	2006	2007	2008	2009	2006	2007	2008	2009
Australia	2.8	3.9	4.2	3.6	3.5	2.3	3.1	2.4
Canada	2.8	2.7	1.0	2.3	2.0	2.1	1.6	1.9
Chile	4.0	5.2	n.a.	n.a.	3.4	4.4	7.1	3.1
China	11.1	11.4	9.6	10.0	1.5	4.8	6.0	5.0
Colombia	4.7	6.8	7.0	5.0	5.0	4.3	5.7	4.8
Ecuador	3.9	2.6	4.2	n.a.	3.3	2.3	3.7	n.a.
Hong Kong, China	7.0	6.3	4.5	4.9	2.0	2.0	3.6	4.9
Indonesia	5.5	6.3	5.8	6.3	6.6	6.6	11.7	7.0
Japan	2.4	2.1	1.6	1.7	0.2	0.1	0.6	0.3
Korea	5.0	4.9	5.0	5.0	2.2	2.5	2.8	n.a.
New Zealand	2.2	3.3	1.8	2.8	3.4	2.4	3.3	2.8
Peru	7.6	9.0	7.9	6.6	2.0	1.8	5.0	3.1
Philippines	5.4	7.3	6.3	7.1	6.3	2.8	5.0	5.6
Singapore	8.2	7.7	4.8	5.5	1.0	2.1	4.5	3.5
Chinese Taipei	4.9	5.7	4.3	4.5	0.6	1.8	2.0	1.7
United States	2.9	2.2	1.0	2.5	3.2	2.9	3.9	2.6

Source: SOTR forecasters

表2：PEO各国／地域の実質輸出入伸び率、2006-2009 (%)

	Exports				Imports			
	2006	2007	2008	2009	2006	2007	2008	2009
Australia	3.3	3.5	3.9	7.8	7.3	10.9	12.1	5.2
Canada	0.7	0.9	-3.5	1.3	5.0	5.7	5.4	3.1
Chile	4.2	8.1	n.a.	n.a.	9.4	15.1	n.a.	n.a.
China	19.6	10.9	-5.8	0.4	13.1	6.7	-5.2	3.0
Colombia	7.0	7.8	6.0	4.0	19.9	20.8	15.1	12.6
Ecuador	8.6	-1.7	5.3	n.a.	9.2	6.5	5.0	n.a.
Hong Kong, China	9.4	7.9	5.7	6.7	9.1	8.9	7.4	6.7
Indonesia	9.4	8.0	8.0	8.5	8.6	8.9	8.0	8.8
Japan	9.7	8.8	5.5	2.6	4.2	1.7	1.1	0.3
Korea	12.4	11.8	9.7	n.a.	11.3	11.8	10.5	n.a.
New Zealand	3.3	0.3	2.8	3.2	0.1	2.8	-0.6	4.7
Peru	0.5	6.2	7.2	4.9	12.3	19.1	13.9	13.1
Philippines	11.2	3.1	2.3	11.9	1.9	-5.4	2.8	8.0
Singapore	11.0	6.6	6.7	7.7	11.4	6.8	6.6	7.5
Chinese Taipei	10.4	8.8	4.2	5.6	5.2	4.0	2.4	3.8
United States	8.4	8.0	7.5	7.4	5.9	1.9	0.9	3.7

Source: SOTR forecasters

表3：PEO各国／地域の経常収支、2006-2009
(単位：10億US\$、GDP比%)

	2006 US\$	2007 US\$	2008 US\$	2009 US\$	2006 %	2007 %	2008 %	2009 %
Australia	-41.3	-52.2	-46.4	-41.4	-5.5	-5.7	-5.0	-4.2
Canada	26.7	15.2	-17.1	-31.3	1.6	0.9	-1.0	-1.6
Chile	5.3	6.3	n.a.	n.a.	3.6	3.8	n.a.	n.a.
China	208.9	260.3	284.7	287.3	7.9	8.0	6.8	5.7
Colombia	-1.9	-3.1	-6.5	-9.6	-1.5	-2.2	-3.8	-4.8
Ecuador	1.5	1.5	2.4	n.a.	3.7	3.4	4.9	n.a.
Hong Kong, China	22.8	27.4	26.9	25.2	12.1	13.3	12.1	10.6
Indonesia	10.8	11.0	6.1	8.2	3.0	2.5	1.2	1.4
Japan	171.5	194.9	196.6	221.4	3.9	4.4	3.9	4.3
Korea	5.4	6.0	-2.6	n.a.	0.6	n.a.	n.a.	n.a.
New Zealand	-9.1	-9.8	-7.8	-8.4	-8.6	-7.6	-5.2	-5.5
Peru	2.8	1.5	0.9	-3.7	2.9	1.3	0.6	-2.4
Philippines	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
Singapore	29.8	39.2	50.5	62.7	21.8	24.3	27.1	29.8
Chinese Taipei	24.7	29.1	25.2	26.5	6.7	7.6	5.9	5.8
United States	-794.1	-719.6	-674.6	-603.9	-6.0	-5.2	-4.7	-4.0

Source: SOTR forecasters

表4：PEO各国／地域の実質経済成長率への寄与度の予測, 2008-2009 (%)

		GDP 成長率	個人消 費支出	総民間 国内投資	政府支出	純輸出
Australia	2008	4.2	2.7	2.1	1.5	-2.1
	2009	3.6	2.0	0.5	1.2	0.2
Canada	2008	1.0	2.7	0.5	0.5	-3.7
	2009	2.3	2.1	0.3	0.6	-0.9
Chile	2008	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	2009	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
China	2008	9.6	2.8	3.3	n.a.	-0.6
	2009	9.6	3.9	4.3	n.a.	-0.7
Colombia	2008	7.0	4.4	3.8	1.6	-2.8
	2009	5.0	3.8	2.8	1.2	-2.8
Ecuador	2008	4.2	3.3	0.9	0.4	-0.3
	2009	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
Hong Kong, China	2008	4.5	3.8	1.8	1.7	-2.8
	2009	4.9	3.6	0.7	0.1	0.5
Indonesia	2008	5.8	2.9	2.4	0.6	2.4
	2009	6.3	2.8	2.3	0.4	0.7
Japan	2008	1.6	0.6	0.2	n.a.	0.7
	2009	1.7	0.7	0.6	0.1	0.4
Korea	2008	5.0	2.2	n.a.	n.a.	0.7
	2009	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
New Zealand	2008	1.8	0.7	0.5	0.5	1.1
	2009	2.8	1.3	0.3	0.5	-0.6
Peru	2008	7.9	4.4	3.1	1.9	-1.5
	2009	6.6	3.9	3.4	1.2	-1.9
Philippines	2008	6.3	4.7	1.5	0.5	-0.2
	2009	7.1	4.8	0.4	0.2	1.9
Singapore	2008	4.8	0.9	1.4	0.6	1.9
	2009	5.5	1.1	1.2	0.7	2.6
Chinese Taipei	2008	4.3	1.7	0.6	0.4	1.6
	2009	4.5	-0.1	0.0	0.1	1.9
United States	2008	1.0	0.8	0.7	0.1	0.3
	2009	2.5	1.4	1.8	0.1	-0.2

Source: SOTR forecasters

表5：PEO各国／地域の長短期金利の動向および予測、2006-2009 (%)

短期金利						長期金利				
	Type	2006	2007	2008	2009	Type	2006	2007	2008	2009
Australia	90-day Dealer Bill rate (period average)	5.85	6.43	6.90	6.40	10-yr Government bond yield (period average)	5.47	5.91	6.60	6.30
Canada	3-month TB	4.04	4.12	3.25	2.99	Canada 10-Yr	4.22	4.28	4.00	3.95
Chile	30-day deposit rate	5.00	5.30	n.a.	n.a.	10-yr Central Bank bond	2.80	2.70	n.a.	n.a.
China	1 yr. Deposit	5.99	6.93	7.71	8.01	5-yr + Deposit	6.62	7.65	8.43	8.73
Colombia	DTF-90 days (Corresponds to 90 days certificate deposit nominal interest rate)	6.35	6.82	9.01	n.a.	TES-Largo plazo (Corresponds to long term (9 yrs to 16 yrs) nominal interest rate for Colombian treasury bills)	9.12	8.80	10.29	n.a.
Ecuador	Wtd avg rates on private banking loans up to 360 days	10.24	10.72 *	10.50 **	n.a.	Wtd avg rates on private banking loans over 360 days	11.35	11.51 ***	n.a.	n.a.
Hong Kong, China	3-mth HIBOR (yr end)	3.84	3.31	4.00	4.00	HSBC Prime yr end	7.75	6.75	7.50	7.00
Indonesia	1 month Bank Indonesia certificate (end of year)	9.75	8.00	9.50	8.50	10 years government bond	11.50	10.50	11.80	10.50
Japan	3-mth CD rate	0.19	0.57	0.67	1.05	10-yr govt bond	1.74	1.65	1.41	1.72
Korea	Yields on CD(91-day)	4.5	5.2	n.a.	n.a.	Yields of Treasury Bonds(3-year)	4.8	5.2	n.a.	n.a.
New Zealand	90 day bank bill, calendar yr	7.55	8.33	8.43	6.88	10-yr govt bond, calendar yr	5.78	6.26	6.27	6.40
Peru	Interbank average interest rate	4.50	5.00	5.25	5.25	Loans and discounts more than 360 days	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
Philippines	91-day T-bill	5.31	3.38	2.98	1.57	364-day T-bill	6.89	5.21	4.89	4.33
Singapore	3-Mth Interbank Rate (End of Period)	5.33	5.33	5.33	5.33	15-Yr Bond Yield (End of Period)	3.05	3.00	3.00	3.00
Chinese Taipei	Interbank overnight rate	1.55	2.00	2.10	2.24	10-yr Gov.t Bond	1.98	2.32	2.63	2.99
United States	3-Mth T-bill	4.35	1.58	1.86	1.86	10-Yr T-bond	4.63	3.21	3.02	3.02

Source: SOTR forecasters

表 6 : P E O 各国 / 地域の為替レートの動向及び予測、 2006-2009 (US\$ 1 比)

	2006	2007	2008	2009
Australia	1.33	1.19	1.25	1.25
Canada	0.88	1.13	1.18	1.21
Chile	530.28	522.50	n.a.	n.a.
China	7.97	7.60	6.91	6.58
Colombia	2321.49	2358.96	2076.24	1935.69
Ecuador	1.00	1.00	1.00	1.00
Hong Kong, China	7.80	7.80	7.80	7.80
Indonesia	9141.30	9163.70	9200.00	9100.00
Japan	116.31	117.76	103.88	102.50
Korea	955.08	929.16	n.a.	n.a.
New Zealand	1.54	1.36	1.24	1.26
Peru	3.20	2.97	2.60	2.60
Philippines	51.31	46.15	41.58	41.86
Singapore	1.59	1.51	1.45	1.42
Chinese Taipei	32.53	32.84	30.88	30.06
United States	1.00	1.00	1.00	1.00

Source: SOTR forecasters

表 7 : GDP デフレータの動向及び予測、 2006-2009

	2006	2007	2008	2009
Australia	102.37	106.18	109.20	111.12
Canada	1.13	1.16	1.20	1.23
Chile	129.79	138.22	n.a.	n.a.
China	118.66	128.61	142.11	153.48
Colombia	3.24	3.39	3.54	3.68
Ecuador	192.07	201.07	210.29	n.a.
Hong Kong, China	99.70	102.45	105.21	109.37
Indonesia	180.78	201.50	235.75	267.11
Japan	92.57	91.87	91.01	91.76
Korea	111.70	n.a.	n.a.	n.a.
New Zealand	1234.68	1276.89	1329.81	1357.74
Peru	190.44	195.74	197.83	200.53
Philippines	472.61	485.49	501.32	514.46
Singapore	102.00	106.10	112.50	118.12
Chinese Taipei	95.99	96.15	96.22	96.89
United States	116.57	119.68	122.73	126.12

Source: SOTR forecasters

表8:PEO各国/地域の貿易ウエイト、2004-2006年平均(%)

	All	Excluding United States and Japan	East Asia*	Southeast Asia	Latin America	Excluding East Asia
Australia	2.7%	4.8%				6.1%
Canada	7.9%	14.1%				17.9%
Chile	0.9%	1.6%			45.0%	2.0%
China	16.9%	30.2%	30.2%			
Colombia	0.5%	0.9%			24.8%	1.1%
Ecuador	0.2%	0.4%			12.1%	0.5%
Hong Kong, China	7.0%	12.5%	12.5%			
Indonesia	1.8%	3.3%	3.3%	22.9%		
Japan	13.1%		23.4%			
Korea	6.5%	11.5%	11.5%			
New Zealand	0.5%	1.0%				1.2%
Peru	0.4%	0.6%			18.1%	0.8%
Philippines	1.1%	1.9%	1.9%	13.5%		
Singapore	5.1%	9.1%	9.1%	63.6%		
Chinese Taipei	4.5%	8.1%	8.1%			
United States	30.9%					70.2%
Total	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

出所：WTO統計。貿易加重はPECC地域の総貿易額に占める各国/地域の貿易額（輸入と輸出計）

* 東アジア (East Asia) 東南アジア (Southeast Asia) を含む。